

第15回 物質工学連合部会 デザイン分科会

第7回 研究発表会 開催議事録

日時 平成12年10月19日(木) 10:30開会
場所 群馬厚生年金会館 百合の間 群馬県前橋市古市町1-35-1
TEL 027-253-0231
主催 物質工学連合部会 デザイン分科会
協力 財団法人 工芸財団 日本工芸技術協会 財団法人 日本産業デザイン振興会
参加者数 計47名(参加者名簿は別添資料による)

1 受付 10:00

2 開会 10:30

司会進行 製品科学部長 唐沢健司
開催資料の確認

3 挨拶

開催機関長 群馬県工業試験場 場長 瀬山 博克

平成15年度中を目処に群馬県産業技術センターを開所予定である。

現在、基本設計が進行中である。工業試験場から産業技術センターに生まれ変わる途上である。ハード、ソフトともに皆さんの最新の研究成果が参考になればと考える。(以下 略)

分科会長 兵庫県立工業技術センター 産業デザインセンター 所長 加藤 敏春氏

地域の中小企業はまだまだ、経営事情が厳しい。デザインの部門は企業の技術力を総合した新製品の開発をバックアップできる部門として活力ある企業支援をリードしていける部門であると認識している。この分科会・研究発表会をとおして、新しい地域の指導事例、研究発表の成果など、新しい知識・知見を得て地域の産業の支援に生かしていただければ本日の研究会は有意義なものとなると思う。分科会運営に協力、御支援を頂いている日本工芸技術協会、日本産業デザイン振興会に感謝申し上げます。(以下 略)

4 次期開催県挨拶

静岡市商工部地域産業課 課長 永島 順太郎氏

静岡は全国的にも有数な家具の産地である。毎年6月には150社を超える地元
の企業を巻き込んだ、家具メッセを開催している。静岡市ではこのイベントにあ
わせ、デザイン分科会を開催したいと考えている。通例、春の分科会は6月中旬
であるが、6月7日（木）、6月8日（金）の見本市イベント開催期間中に開催
したい。全国の地域産業を第1線で支えている担当の方々に来て頂き、静岡の地
場産業活性化のためのアドバイスをいただければと考えている。（以下 略）

5 協力団体挨拶

財団法人 日本産業デザイン振興会 振興事業部長 田中 義信氏

全国の公設試の皆さんの御支援なくしては、産業デザインの振興は語れないと考
えている今後、デザイン分科会も含めて、地域指導を強化してゆきたい。（以下 略）

6 分科会指示連絡事項

10:40

開催事務局 兵庫県立工業技術センター産業デザインセンター 次長 真鍋 元保氏

前回の山口の分科会では、分科会の運営の方法を決定した。これからは、書面にて
分科会の決定事項、運営方法を残せるようにしてゆきたい。会長任せの分科会運営
ではなく、各ブロックから幹事を選出して頂き、会長と同様に運営の企画調整にあ
たって頂くことをお願いしている。本年度9月の末までに決定したい旨を、各地域
の公設試に議事録と決定事項をとおしてお伝えしている。現在ブロック幹事は確定、
あるいは予測という形で以下のブロックから返事を頂いている。（全て確定してい
る訳ではない）

北海道・東北ブロック 岩手県

南関東ブロック 東京都

北関東ブロック 長野県

中国・四国ブロック 山口県

近畿ブロック 京都府

九州ブロック 大分県

東海・北陸ブロックだけはまだ返事をもらっていないので、是非ブロックから幹
事を選出して頂くようお願いする。

副会長にあつては、今回群馬県が開催したが、開催日より1年間来年平成13年の秋まで副会長に御就任いただき、また、本年度春の開催県である山口県は平成13年度の次期開催県の静岡市に引き継ぐまで副会長とさせていただいている。(いずれも前回分科会議事決定事項) これは、会長、副会長、ブロック幹事で次期開催県をすみやかに決定することを主眼においたものである。(以下 略)

司会進行 製品科学部長 唐沢健司

・タイムテーブルの確認

7 研究発表(第1部) デザイン指導事例(4テーマ) 11:00

司会進行 産業デザイン課長 荻野 雄一郎

・今回座長選出方式をとらない。また、質疑応答は一括質疑とする。

*1. 北海道立工業試験場 及川 雅稔氏

「自然な「声」を実現する電気式人工喉頭のデザイン開発」

*2. 兵庫県立工業技術センターデザインセンター 平田 一郎氏

「最近の技術支援事例「Digital Network」「Universal」「Ecology」」

*3. 石川県工業試験場 梶井 紀孝氏

「骨密度測定装置のデザイン開発指導」

*4. 埼玉県工業技術センター南部研究所 影山 和則氏

「ソーラー電源を組み込んだ景観鋳造製品の開発研究」

以上 指導事例 午前 4名(詳細は研究発表要旨集を参考)

8 昼食休憩 12:15

9 研究発表(第2部)

デザイン指導事例(1テーマ)・研究事例(5テーマ)

13:00

司会進行 産業デザイン課長 荻野 雄一郎

*5. 宮城県産業技術総合センター 伊藤 克利氏

「ステップインバインディングの開発」

研究事例（5名5テーマ）

- * 1. 栃木県工業技術センター 糀谷 通男氏
「高齢者向け家具の開発 - ロッキングチェア・壁付イスの開発 -」
- * 2. (社) 人間生活工学研究センター 鈴木 一重氏
「人間中心設計手法の開発 - <人間生活工学>商品開発ガイドブック -」
- * 3. 大阪府立産業デザイン研究センター 西村 睦夫氏
「人間重視のモノづくり研究 -ヒューマンデザインテクノロジーに基づく商品開発手法と事例-」
- * 4. 埼玉県工業技術センター 南部研究所 町田 芳明氏
「感性工学を応用したヒューマンデザイン研究（Ⅱ）- 障害者や高齢者を援助するデータ入力装置のデザイン -」
- * 5. 東京都立産業技術研究所 三好 泉氏
「共用品の配慮設計に関する研究 - 触覚記号の識別性に関する考察 -」

以上 指導事例 1名 研究事例 5名（詳細は研究発表要旨集を参考）

1 0 コーヒーブレイク 1 4 : 4 5

1 1 特別講演

メインテーマ「中小企業が公設試デザイン部門に求めること」 1 5 : 0 0

司会進行 産業デザイン課 丸 秀樹

前説 国立試験研究機関、大学、公設試などの研究機関の再編を背景に、社会経済情勢の変化する中で、中小企業の技術支援はどうあるべきか、再度公設試担当者に考えていただく機会を設けた。

全国の公設試で地域企業を活性化するための事業を展開する、お二人に来て頂き、「公設試の支援事業はこのままで良いのか」という、問題提議と支援提案さらに、事例紹介をして頂いた。

（後半、群馬県の商品開発事例紹介、中小企業支援事業のありかたについて論議を深めようとするが、時間切れとなる。講演内容は各レジメによる）

- 1) 「産学・学官・産官連携事業の基本的スタンス」
流通開発商品のプロデュース事例 市場性論理の必要性から
武蔵野美術大学 基礎デザイン学科教授 宮島慎吾氏 (45分)
- 2) 「中小企業の商品開発に関する問題点」
公設試の中小企業支援展開 ベクトルとファイティングスピリッツ
株式会社クルー 代表取締役 馬場 了氏 (45分)
- 3) 「群馬県中小企業の現状」・・・デザインとベンチャー企業の現場から
UOVO デザイン 代表 清水 朗氏、ブレニ?技研 代表 阿部 康幸氏 (30分)
- 4) パネルディスカッション・意見交換会 (10分)
パネラー 宮島慎吾氏 馬場 了氏 他 (メインテーマについての討議や講演
に関しての質問など、意見交換をした。時間の都合上、質疑時間は割愛した。)

10 閉会 17:25

確認事項 製品科学部長 唐沢 健司

デザイン分科会 開催県は以下のように進行する事を各県に承諾頂いている。
了承願いたい。

平成13年 春 静岡市 秋 茨城県

平成14年 春 未定 秋 山梨県

会議終了時刻 17:30

11 交流会 17:15?18:45

群馬厚生年金会館内 3F 牡丹の間 (立食形式) (18:45解散)

以上

追記

分科会開催事務局 兵庫県立工業技術センター 産業デザインセンター 次長 真鍋氏

研究発表会開催後、東海・北陸ブロック幹事を石川県にお引き受け頂く承諾が得られた。

各ブロックの方々にも御確認頂き、ご意義が無ければ、平成12年度 第7回研究発表会当日をもって、デザイン分科会 幹事会を設定し活動を開始したいと考えている。